

報團援應

2014年

4月20日

號外

應援團

管理委員會

本日、5月2日(金)

3時55分より屋上に於いて

鯉幟集會

雨天時延期

を行う。

〈會次第〉

- 一、自治を叫びて
- 一、目入れ
- 一、鯉幟の説明
- 一、こいのぼりの歌
- 一、鯉幟掲揚
- 一、とんぼ祭讃歌
- 一、記念撮影

こいのぼり 文部省唱歌

やねよりたかい こいのぼり

おおきいおごいは おとうさま

ちいさいおごいは こどもたち

おもしろくは およいでる

※鯉幟集會では

「おとうさま」ご

歌います。

く鯉幟について

昭和26年、五月晴れのある日、校舎前庭の桜の木の下で
3年生教人と談笑していた岡田^{ぼの}校長は、

「こんな時は鯉幟を立てればいいがなあ。」とつぶやいた。

「俺たちが作ってみるじゃ。」と、生徒達の作り上げたのは、

和紙も貼る合わせた全長約10mの巨大鯉幟だった。

目入れは岡田校長。28年からはアカシア会が作っていた
が、彼の退任とともに制作は途切れてしまった。

その後44年、当時の副團長を筆頭に、應當が校舎の
カーテンを使って製作、平林六弥校長の「平林一号」
として復活、今に至る。

今年は田中校長の、その名も「定善2号」が深志の空を
力強く泳がんとしている。私達も、彼の見守る深志の
力強く泳ごうではないか。

多数の参加を
望む

